

令和 7 年度

区立小・中学校児童・生徒体力等調査の 結果について

令和 7 年 1 0 月

中央区教育委員会

目 次

I	令和7年度 区立小・中学校児童・生徒体力等調査実施概要	
1	調査の目的	2
2	調査実施児童・生徒数	2
3	調査実施の期間	2
4	調査方法	2
5	調査結果の分析・活用について	
	(1) 調査結果の分析	2
	(2) 調査結果の活用	2
II	体格についての調査結果	
1	身長についてのデータ比較	3
2	体重についてのデータ比較	3
III	体力についての調査結果と分析	
1	体力についての調査結果	4
2	総括	5
IV	体力向上に向けての取組	
1	課題	6
2	体力向上に向けての取組	6

I 令和7年度 区立小・中学校児童・生徒体力等調査実施概要

1 調査の目的

中央区の児童・生徒の体力の状況等を客観的に把握し、子どもたちの健康や体力向上に関する意識を高めるとともに、各学校における今後の体育・健康教育の充実を目的とする。

2 調査実施児童・生徒数

	調査実施人数(人)
小学校	9,318
中学校	1,758

3 調査実施の期間

令和7年5～6月中に各学校において実施

4 調査方法

体力調査は「新体力テスト実施要項」（スポーツ庁・東京都教育委員会）に示された種目及び実施方法による。

テスト項目	運動能力
握力	筋力
上体起こし	筋力・筋持久力
長座体前屈	柔軟性
反復横とび	敏捷性
※20mシャトルラン・持久走（中学校のみ）	全身持久力
50m走	走力
立ち幅とび	瞬発力
ソフトボール投げ（小学校）・ハンドボール投げ（中学校）	投力

※中学校では、20mシャトルラン・持久走どちらか一方を選択して行う。

5 調査結果の分析・活用について

（1）調査結果の分析

- ・体格について、平均値により全国（令和6年度）及び東京都（令和7年度）と比較し、本区の児童・生徒の現状について、全体的な傾向を捉える。
- ・体力診断テストについて、平均値により本区及び東京都の数値（令和7年度）及び全国の数値（令和6年度）を比較し、本区の児童・生徒の体力の現状の全体的な傾向を捉える。

（2）調査結果の活用

- ・個人票に記載している児童・生徒一人一人の体力の状況をもとに、課題を把握し目標を設定することができるようにする。
- ・学校全体の状況を分析し、体力向上に向けて全校的な取組を工夫する。

II 体格についての調査結果（▼はマイナスを表す）

1 身長についてのデータ比較

①男子

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
R 7 中央区	117.6	123.6	129.6	135.1	140.6	147.4	155.6	162.9	168.2
都との比較	0.8	0.7	0.8	0.8	0.7	1.0	1.2	1.2	1.4
全国との比較	0.9	0.9	0.9	1.3	1.2	1.3	0.9	1.6	2.2

②女子

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
R 7 中央区	116.7	122.4	128.7	134.4	141.5	148.9	154.7	156.4	158.2
都との比較	0.9	0.6	0.8	0.3	0.5	1.0	1.8	0.8	1.1
全国との比較	0.8	0.5	0.7	0.5	0.4	1.2	2.1	1.3	1.6

全ての学年で全国（令和6年度）・東京都（令和7年度）の平均値を上回っている。
測定結果について、令和6年度と比較すると、ほぼ同程度の数値である。

2 体重についてのデータ比較

①男子

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
R 7 中央区	21.2	24.1	27.7	31.3	35.1	40.3	46.1	51.7	56.0
都との比較	0.1	0.2	0.4	0.4	0.4	0.8	1.4	1.6	1.1
全国との比較	0.0	0.4	0.7	0.7	1.0	1.6	1.1	2.0	1.9

②女子

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
R 7 中央区	21.0	23.4	26.5	30.2	34.3	40.2	44.6	46.8	49.3
都との比較	0.2	0.0	0.0	0.0	▼0.1	0.5	0.8	0.0	0.2
全国との比較	0.2	0.0	0.0	0.1	▼0.2	0.6	0.7	0.3	0.3

全国（令和6年度）・東京都（令和7年度）との差については、－0.2kgから
2.0kgの間で推移している。
測定結果について、令和6年度と比較すると、ほぼ同程度の数値である。

III 体力についての調査結果と分析

1 体力についての調査結果

令和7年度 体力調査 学年別一覧表

	全国と都いずれも平均以上の記録		都平均以上の記録
	全国平均以上の記録		全国と都いずれも平均を下回る記録

小学校

中央区	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)
1年男子	8.8	12.2	26.4	28.3	18.7	11.5	119.4	7.4
2年男子	10.5	14.2	27.9	32.5	28.5	10.6	129.5	11.5
3年男子	12.3	17.0	30.2	36.9	36.8	10.0	140.7	14.9
4年男子	14.4	18.5	31.9	40.0	43.6	9.6	149.8	18.0
5年男子	16.4	20.4	34.5	43.7	50.2	9.3	158.3	20.8
6年男子	19.1	22.2	38.1	47.5	57.9	8.8	171.2	24.6
1年女子	8.3	11.1	28.8	26.9	15.3	11.8	111.9	5.2
2年女子	9.7	13.0	31.1	30.5	20.5	11.0	120.7	6.9
3年女子	11.2	15.6	34.0	34.0	25.9	10.4	130.0	8.3
4年女子	13.4	17.6	35.4	37.2	32.2	10.0	140.4	10.0
5年女子	15.7	18.6	39.2	41.2	37.9	9.6	149.0	12.3
6年女子	18.9	20.1	43.0	44.2	44.4	9.2	160.3	14.4

男子	女子
全学年が「反復横跳び」「50m走」「立ち幅跳び」において、全国平均値、東京都平均値以上	
多くの学年が「上体起こし」「長座体前屈」において、 全国平均値、東京都平均値以上	多くの学年が「長座体前屈」において、 全国平均値、東京都平均値以上

中学校

中央区	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	持久走 (秒)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)
1年男子	23.3	22.7	40.4	46.9	477.2	60.7	8.7	179.1	17.5
2年男子	29.1	26.4	43.9	52.4	415.5	74.0	7.9	200.5	21.4
3年男子	34.1	29.2	49.0	56.7	386.0	81.0	7.5	214.3	24.4
1年女子	21.6	21.0	43.5	44.9	337.2	44.8	9.1	166.3	11.0
2年女子	22.7	22.0	47.4	46.7	320.7	48.3	8.9	170.1	11.7
3年女子	24.6	23.0	48.9	46.9	307.5	46.6	8.9	166.5	12.5

男子	女子
全学年が「長座体前屈」「50m走」において、 東京都平均値以上	全学年が「上体起こし」「反復横跳び」「50m走」 において、東京都平均値以上
全学年が「持久走」「20mシャトルラン」において、全国平均値、東京都平均値を下回る	

※全国平均は、令和6年度分の調査結果である。

※中学校は、持久走か20mシャトルランのいずれかを計測している。

※持久走の距離は、男子が1500m、女子が1000mである。

2 総括

【成果】

小・中学校

- ・50m走で東京都平均以上の結果を出しており、走力が高いことが分かった。

小学校

- ・反復横跳び、立ち幅跳びで全国平均値、東京都平均値以上であり、敏捷性や瞬発力が高いことが分かった。

【課題】

小学校

- ・女子の「握力」「上体起こし」「ソフトボール投げ」の結果が東京都の平均を下回っている学年があり、筋力や筋持久力、投力に課題がある。

中学校

- ・男女問わず、「持久走」、「20mシャトルラン」の結果が、東京都の平均よりも低く、全身持久力に課題がある。
- ・女子の「ハンドボール投げ」の結果が、東京都の平均よりも低い傾向があり、投力に課題がある。

IV 体力向上に向けての取組

体力調査の結果から児童・生徒の体力の状況を把握し、その改善を図るためには、体力向上に向けた取組を進めていくとともに、幼児・児童・生徒それぞれの発達の段階で運動習慣を定着させていくことが必要である。

例年、各学校における課題を明らかにして、授業における体育指導補助員の活用やマイスクールスポーツの実践から、年間を通して学校全体で体力向上を図っている。こうした結果、体力の向上については高い水準を維持している。引き続き、これまでの取組を継続するとともに、各学年の課題に焦点化した取組を実施していく必要がある。

【今後の取組】

1 課題

小学校は、筋力、筋持久力、投力に課題がある。

中学校は、全身持久力、投力に課題がある。

2 体力向上に向けての取組

(1) 教育委員会の支援及び取組

- ・令和7年4月28日の体力調査説明会において、小中学校の担当教員向け体力テストの意義や目的、実施方法等について確認するとともに、外部講師による教員研修を実施した。また、体力向上の効果的な取組をまとめた事例集を配布し、各校で活用した。
- ・体力調査の結果をもとに、学力・体力向上プランを修正させ、各小・中学校が自校の結果を評価し、今後の取組に反映させる。
- ・体力テストの結果を受け、マイスクールスポーツの種目や具体的な実施内容について見直すよう指導する。

(2) 人員配置

- ・全小学校に体育指導補助員を配置し、学習および実技指導の補助を行っている。また、中学校では武道・ダンス等の専門的技能や指導能力を有する種目の指導員を学校の状況に応じて配置し、指導の充実を図っている。

(3) 課題解決への取組

ア 投力の向上

- ・小学校及び中学校では、継続的に体育及び保健体育の授業でボールを投げる運動を取り入れることや、球技の種目を行う際に、ボールを投げる運動を意識的に行うなど、投力を強化する運動を小学校段階から充実させていく。また、校庭や体育館に的当てを置いたり、投げる動きにつながる遊具を増やしたりするなど、遊びを通して自然と投げる力が身に付くような環境づくりをする。

イ 持久力の向上

- ・小学校及び中学校において、体育・保健体育の授業以外の活動で、日常的に体を動かす取り組みを取り入れる。
- ・小学校及び中学校において、休み時間などに、全員が運動やスポーツに取り組む時間を設定し、運動の日常化につなげる。

ウ 筋力の向上

- ・小学校から、体づくり運動の中で、鉄棒や雲梯、肋木等を活用し、「ぶら下がる」「ものを握る」機会を多く設定する。